



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 石川 富康
 編集人 中平等 新一
 名古屋市中白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇11月3日(祝) 朝明溪谷～愛知川周辺で県民登山教室 <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>



8月28日(土)
 少年少女・親子
 ふれあい登山教室

↑ 参加者全員で記念写真
 (朝明溪谷)

休憩小屋で楽しい
 だんらんのひととき →



親子ふれあい登山教室は、日本山岳協会の「少年少女登山教室」の一環として、愛知県山岳連盟が毎年行っている行事である。ここ数年、天候に恵まれなかった、あるいは、アナウンスなどの事前準備が不足していた等の理由もあって、参加者数に恵まれなかったが、今年度は、早くから企画を開始して日本山岳協会から補助金を頂き、日程を夏休み終盤の8月28日土曜日に設定し、中日新聞社の後援を得て紙上でも案内したところ、12家族(大人16名、子供22名)の参加申し込みがあり、当日1家族の欠席があったものの、スタッフを合わせ合計48名もの参加者を得ることができた。

少年少女(親子ふれあい)登山教室
 子供たちも活発に交流登山
 地図の読み方も習ったよ!!

当日朝、下界は晴天ながら会場の朝明溪谷は厚い雲に覆われ、早朝は霧雨も降るなど、天候に不安も感じたが、少しずつ晴れ間ものぞき始める中、開会式を迎え、元氣よく山へ出発していった。

今回は参加者も多かったため、小学校高学年以上の参加者と低学年以下の参加者の2班に分け、まずはブナ清水を目指して登り、年長者班はさらにキノコ岩まで足を伸ばして登山活動を行った。天候も、目的地に到着する頃には晴れ間が広がり、夏山らしい登山活動となった。

参加者同士の交流やスタッフと参加者の交流も活発で、休憩中や行動中には山に関する話も絶えなかったほか、途中のブナ清水のわき水では主催者が用意したカルピスを楽しみ、下山した後は、スタッフの用意した昼食の焼きそばを食べるなど、楽しい登山活動となった。

但し、下山予定時刻を1時間ほど超えてしまったため、昼食後すぐに閉会式を行うこととし、参加家族ごとでの記念撮影や、日本山岳協会からの修了証及び記念バッジを配布して終了し、川遊びは終了後に各家族単位で行ってもらうこととした。

しかし、参加者にとってはむしろ好都合であったようで、

遅くまで川遊びを楽しむ姿が見られると共に、参加した子供同士の交流も活発に行われたと感じられた。参加した保護者からも、「来年、または是非参加したい」との声を何人からも頂くなど、会は大成功に終わったと感じている。

今回は、伊勢谷の水源をさかのぼるといふことで、「エコーを考える」というサブテーマを設定した。また、「登山教室」という性格も考え合わせ、防水した地図を用意してタイミングを見ながら簡単な

地図の読み方を教える、あるいは、自然観察に関する説明をすることなどを随時行った。また、スタッフからは、「エコーをテーマとするなら、次回から食器や箸も持参してもらったら？」という意見も聞かれた。成功裡に終わったとはい

え、反省するべき点もいくつかも出てきたので、それを今後にも生かし、公益法人を目指す愛知県山岳連盟としてもっとも重要な事業の一つに育てていきたいと考えている。

(関谷 雅人)

第57回東海高校総体登山大会

男女共旭丘高が3位

6月18日(金)から20日(日)に第57回東海高等学校総合体育大会登山競技が愛知県民の森をベースに行われました。参加チーム数は、男子静岡2、岐阜1、三重2、愛知2、女子静岡2、岐阜1、三重1、愛知2の合計13チームの参加でした。

開会式直前から降り出した雨が時間とともに強くなり、テント設置場所を屋根のある安全な杉の木センターに変更して幕営しました。また2日

目の登山行動は選手への安全確保を最優先に考え、当初予定していた三ツ瀬からの明神山への登山を中止し、出発時間を遅らせて県民の森内での行動としました。しかし湿度の高い状況下でカップを着ての登山行動であったため選手は相当つらかったのではないかと

思います。登山行動後の選手は疲労でぐったりしていました。宿舎での入浴・夕食を済ませると、ようやく選手顔にも笑顔が見え始めまし

た。そして夕食後にはフリークライマーの尾川智子さんを招いての講演会と交流会を行いました。3日目は雨も上がり予定通りの東海自然歩道となっている阿寺の七滝コースを歩くことができました。最後になりましたが、この東海大会の講演会費用を岳連から援助いただきましたこと、および石川富康山岳連盟会長に大会名誉顧問として3日間お付き合いをいただきましたことを高体連登山専門部を代表して、心から感謝申し上げます。

(石岩 満)

なお、大会結果は以下の通りでした。

- (男子)
- 優勝 静岡県 日大三島高校
 - 2位 静岡県 島田高校
 - 3位 愛知県 旭丘高校
- (女子)
- 優勝 静岡県 日大三島高校
 - 2位 静岡県 浜松日体高校
 - 3位 愛知県 旭丘高校

尾川智子さんを招いて

高体連 谷山 渡

東海4県の高校生が集うこの東海大会がより有意義なものになるようにと、日本で唯一の女性プロクライマー尾川智子さんを招き、彼女の貴重

な経験を交えての講演と実技指導をしてもらいました。

彼女は愛知県田原市の出身で、地元の時習館高校を卒業したという縁で講演会をお願いしたところ、快諾をしてくださりました。

前半の講演では、幼い頃からの宇宙への憧れに始まり、大学でのクライミングとの出会い、国際大会での優勝やその後の活躍、そしてプロに転向した時の苦労、半年をかけて難度V12を達成した時の感激などを、映像を交えてお話しいただきました。

講演は大会2日目の夕食後に行われたため生徒達は疲れしていました。全員が尾川さんの話に興味をもちました。これは限界を超えてチャレンジし続ける彼女の生き様に対する共感と、一流の人の話が訴えかける力強さに感化されたことだと強く思いました。

1時間の講演の後、場所をロビーに移してクライミングの実習に入りました。移動可能なウォールを、初級から上級までの難易度別コースを設定し、事前に設置しました。最初に尾川さんに様々なプロの技術を披露してもらいまし

たが、上級コースまでもいとも簡単にゴールしてしまう姿に生徒達は感嘆しきりでした。

次に生徒から希望者を募り、尾川さんの指導の下で、生徒達が挑戦する実技指導の時間となりました。多くの生徒が挑戦したいと挙手し、自分の技量にあわせて果敢に壁にアタックし、貴重な経験をすることができました。予定していた1時間半はあつという間に過ぎてしまい、充実した講習会は尾川さんを含め、参加者全員での記念撮影で幕を閉じました。

観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

ALPINE ツア サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます
名古屋営業所 TEL: 052-581-3211
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-6 第2千福ビル8階
FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com
ホームページ http://www.alpine-tour.com

《愛知県山岳連盟主催》

好天の下救助技術講習会開かる

〜新しい技術をマスターする〜

愛知岳連「救助技術講習会・検定会」が、去る9月26日南

山の岩場に於いて行われた。朝から青空の広がる好天の下、各山岳会から指導員、受講生ら31名が参加した。

8時、四阿駐車場前で開講式が行われ、高橋澄対委員長が「この講習会は毎年行われていますが、年毎に新しい技術を取り入れられており、しっかりマスターして行ってほしい」と思っています。と述べ、岳連から中平等議長が「最近、事故が目立って多くなっています。また、ヘリコプターの救助要請も増えています。当然セルフレスキューの必要性が求められますので、今回のような講習会が大事であります。怪我をしないよう頑張ってください」と挨拶。

また、勝野指導委員長から本日のメニューと注意事項が述べられ、講習が始められた。まず、A班(初級)は縦走コースで、縦走路における救助と搬送を裏山や男岩において実施した。

降を主に、男、女岩場で行った。

B班②(上級)は、チームレスキューのクライミングコース、自己脱出と介助懸垂下降を各岩場や広場を利用して実施した。

受講生は、技術をマスターしようとして真剣に取り組んでおり、各指導員も受講生が納得できるまで丁寧な指導を心がけた。

また、検定には3名が受験した。

講習は午後3時まで行われ、閉講式で各指導員から「限られた道具で何が出来るかを考える」「救助には培った技術、



シンブルな技術が必要」「実際にマスターしたものの以外は使わない」「新しい技術を学んだら繰り返し練習しものにする」などが伝えられた。

最後に「今日学んだ技術を各会に持ちかえって伝えて欲しい」と結んで、講習会を無事終了した。

講習会に参加して

参加者と知恵を出し合う

講師 近藤 香織

快晴の中、春日井山岳会の坂口指導員とともに、「縦走路でのセルフレスキュー」の講師を担当しました。

今回の講習では、縦走山行の場合、普段どんな装備を携行しているか、もしそこでアクシデントがあった場合「今ある装備でどうやって自傷者を安全な場所まで移動させることができるか」について、参加者全員で知恵を出し合い、考え、体感することで、救助する側、される側の大変さを理解し、救助技術を習得する事を目的に実施しました。実際には、駐車場において、ドラッグ法による搬送、担ぎ方を含めた背負い法、ヒューマンチェイン、ザックとストロークを使用したザック搬送、立

木や笹等を使ったアンカーの作成などを行った後、裏山で、2分の1システムによるブルアップ、CCB(クリップ・コンティニューアス・ビレイ)を実施しました。講師としては、どうしてその動作が必要なのかをお伝えする事を心がけ、参加者の皆さんも、質問や工夫をしながら真剣に取り組んでいただくことができたと思います。

救助の現場では、3つの「S」即ち、「安全性、確実性、迅速性」と、それぞれのコミュニケーションがとても大切です。今回の講習を通じて、参加者の皆さんは、救助の大変さを体感されたことと思います。実際の山行では、まず事故が起きないようKYT(危険予知トレーニング)を積んでいたが、その上で、今回の救助技術も習熟していただけたらと、切に思います。

今回の講習では、私自身も良い勉強になりました。有難うございました。

(豊田山岳会)

実践で役立つ技術

豊橋山岳会

田頭 克哉

豊橋山岳会では岩場を楽しむ会員も10名ほどおり、うち3人が参加全員Bコース①を

安心して選べる三河地区
のPROショップ
JR刈谷駅前

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13
TEL:0568 (23) 6611

定休日(火曜日)
営業時間/10:00~20:00



登山用品豊富!

東海地区で
登山ツアーなら...

オーダーメイドの山旅も取り寄せ
お見積もり無料! お気遣いどうぞ

初心者からベテランまで... 国内日帰りから海外の名峰まで...!
高所登山の前に最適! 低酸素トレーニング室を設置しています!

国土交通大臣登録旅行業第 1366 号 / 日本旅行業協会正会員 / ボート保証会員
アミューストラベル株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-11-27 第二豊田ビル東館7階
TEL:052-588-5617 FAX:052-588-5618 (1階は駅前アルプスさん)